

P-1-3

HMK 米摂取の体質に及ぼす影響

Influence of HMK rice on human constitution

○許 鳳浩¹⁾, 浦田 哲郎¹⁾, 上場場 和夫¹⁾, 齋藤 義憲²⁾,
川端 克司³⁾, 鈴木 信孝⁴⁾

1) 医療法人ホスピター 浦田クリニック

2) 株式会社ライフサイエンス研究所

3) NPO 法人 代替医療科学研究センター

4) 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 臨床研究開発補完代替医療学講座

We investigated the influence of a newly developed HMK rice on TCM constitution. Twenty five subjects without serious disease were recruited. After the consumption of control rice for eight weeks. HMK rice was ingested for sixteen weeks continuously. The stratified analysis showed that, after consuming the HMK rice, the healthy group showed a significant improvement in Qi-deficiency, Phlegm-wetness, Wet-heat, and Qi-depression types. However, the less healthy group showed no significant changes.

【目的】

新規開発の精米技術を用いた「ほっともっと金芽ごはん」(HMK 米)の体質に与える影響について検討した。

【方法】

40歳以上の重篤な疾患を有しない医療法人ホスピターの施設入居者25名を対象とした。被験者には、通常精米の白米を8週間(対照群)、引き続きHMK米を16週間(試験群)摂取させ、中医体質九分類(平和、気虚、陽虚、陰虚、痰湿、湿熱、血瘀、気鬱、特稟質)の各標準化得点を比較検討した。なお、本試験は本学会の倫理審査委員会の承認下を実施した。

【結果】

対照米摂取8週目とHMK米摂取16週目の各体質得点を層別解析したところ、気虚質、痰湿質、湿熱質、気鬱質は、健康度の高い者(平和質得点>60点)では、HMK米の方が有意に改善し(one way ANOVA $p<0.05$)、健康度の低い者(平和質得点<60点)では有意差な変化は認めなかった。また、健康度の高い者における陰虚質と血瘀質は改善の傾向を示した($p<0.1$)。一方、平和質は、健康度の高い者では、HMK米の方が有意に改善したが($p<0.05$)、健康度の低い者では有意差はなかった。

【結論】

HMK米を連続摂取は、健康度の高い者において、気虚質、痰湿質、湿熱質、気鬱質などの改善に有益であることがはじめて示された。今後、さらに例数を増やし、検討する予定である。